

本人確認、スマホは大事

【物語編】

■大学のフリースペース

薫が PC を前に焦っている。やってきた翔平、薫の席に近づく

翔平「薫、どうしたの？」

薫「あー翔平。ログインできなくて。明日から始まるプログラミングのシステム。」

翔平「ああ、それ？ それは一旦大学のシステム入って、そこから外部サービスにログインすればいけるよ。」

薫「それは知ってる。大学のシステムは入れたんだけど、その先の外部サービスに入れないの。」

翔平「パスワード間違ってるんじゃない？」

薫「もう何回も確認して入力してんだって。」

翔平「もう1回やってみてよ。」

薫「えー？ うーん。」

渋々ID とパスワードを入力する

パソコン画面に、二段階認証のために使う方法を選択する画面が表示される

薫「確かこれだった。」

PC を操作してSMS による認証を選択するフリ

薫「ほら、ここから進めないんだけど、どうするの。」

翔平「スマホは？ メッセージきてない？」

スマホを確認する

薫「きてないけど？ スマホ関係ないでしょ？」

翔平「いや、あるでしょ。スマホにコードが送られてきて、それを入力すればログインできるはずだよ。」

薫「そうなの？ でもなんにも送られてきてないよ。」

翔平「そんなはずないけどなあ。」

少し考えて

翔平「・・・あ！ 薫、最近回線契約変えてたでしょ？」

薫「スマホの？ 変えたけど何？」

翔平「いやだから、電話番号も変えたでしょって。それだよ！」

薫「・・・あ。ん？ 前の電話番号で登録してた、とかそういう話？」

翔平「そうそう！」

薫「ああ、そうなんだ・・・」
なんだか腑に落ちない様子

翔平「え？ なになに？」

薫「あ、ごめんどめん。いや、なんでそんな回りくどいことするかなあと思って。ID とパスワード入ってるんだから、わざわざスマホまで使って確認しなくてもよくない？」

翔平「え？・・・まあ、確かに。ID とパスワード・・・だけでいいよね。」

薫「二度手間だしさ、電話番号なんて普段使わないんだから知らないじゃん！ なんでなの？」

翔平「ええと・・・わかりません。ごめんなさい。」

【解説編】

■大学のフリースペース

天の声「薫さん、なんだか納得していないようですね。」

薫「ログインするだけなのに、スマホまで使うってなんだか回りくどい気がして。」

天の声「なるほど。それを理解するためには、まずは二段階認証や多要素認証という考え方を踏まえておく必要があります。」

翔平「二段階認証と多要素認証？」

天の声「さまざまな情報サービスに対して、ある人がそのサービスの利用資格を持っていることを確認するのが、「認証」という手続きです。」

翔平「ID とパスワードの入力が正にそのためですね。」

天の声「はい。ただ、パスワードを使う認証方法はセキュリティ上十分ではないことが多いのです。例えば漏洩などによりパスワードが第三者に知られてしまい、情報が盗まれたりアカウントが悪用されたりする被害は多数発生しています。この問題への対処として有効なのが、二段階認証です。ID とパスワードによる認証を第1段階として、別途登録されている携帯電話の番号やメールアドレスに宛てて確認コードを送るというもう一段階を追加することで、接続しようとしている人が本人であることをより確実にするという考え方です。」

薫「なるほど。その考え方を理解すると、スマホを使ってさらに確認するのも納得できます。」

天の声「本人を確認する認証を、パスワードなど一つだけの方法ではなく、複数の種類を組み合わせることでより安全にするという考え方は、多要素認証と呼ばれます。」

翔平「多要素認証・・・ですか。」

天の声「「認証要素」には知識情報、生体情報、所有情報、の3つがあり、これらは「認証の3要素」と呼ばれています。」

知識情報は、本人のみが記憶している情報で、パスワードや暗証番号などがこれにあたります。

生体情報は、本人の生体的な特徴に基づく情報で、顔や指紋などが使われています。

所有情報とは、本人のみが所有している物を使って表す情報のことで、スマートフォンへのSMS送信、アプリによるワンタイムパスワード生成などの方法があります。」

翔平「なるほど！ いろいろな種類の認証方法があって、それを組み合わせて使うんですね。」

天の声「多要素認証の考え方は、スマートフォンを持ち歩く人が増えたこともあって、一般的になってきています。スマートフォンは、所有情報であると同時に、生体認証をする機能も持っていて、これらを組み合わせることによって本人を確認するという機能を強化しています。また、常時ネットワークと接続していることにより、これらの機能をオンラインのサービスのための本人の確認に使うことができるようになってきました。このように、本人を確認する技術的手段と、ネットワークの利用が結びつくことで、スマートフォンの重要性は増していて、スマートフォンなしでは、本人確認をすることが難しいという状況すら生まれてきています。」

納得しながら

薫「本人確認を確実にしようと思ったら、スマートフォンを利用するのが一番なんだ。」

天の声「ここで、注意点が一つ。認証、すなわち本人を確認する手段としてスマートフォンを使うに

は、外部のサービスに対して電話番号などの情報を正しく登録する必要があります。」

自分のミスを反省して

薫「ああ、そっか・・・最近では SNS で連絡が取れてしまうので、自分の電話番号を意識する機会がほとんどありません。でも、認証手段として使う以上、きちんと管理しないといけないんですね。」

天の声「その通りです。スマートフォンを契約する際は本人確認の手続きが必ず含まれており、身分証明書などを確認に用います。スマートフォンの電話番号がオンラインサービスのための身分証明や本人確認のために使われるというのも、回線契約の時にそのような確認の手続きを経ているはずだという信頼が前提にあるのです。」

翔平「スマートフォンを使って認証をするというのは理にかなっているんですね。」

天の声「スマートフォンは個人を識別する大事なものなので、パスワードも、スマートフォン自体も、盗まれないように注意が必要です。そして、万が一盗難や紛失が起こった時は、被害が拡大しないように、端末をロックするなどの対応を急いで行うようにしてください。」

翔平と薫「わかりました！」